

平成30年度社会福祉法人十日町福祉会 事業と財務の状況(概要)
(平成30年4月1日から平成31年3月31日まで)

1 経営理念

十日町福祉会は、社会福祉事業を通じて多様な福祉課題に積極的かつ主体的に取り組み、地域社会の豊かな発展と充実に貢献します。

2 経営方針

○人権の尊重

お客様の自己決定と選択を尊重し、その権利擁護を実現するとともに、個人の尊厳に配慮した良質かつ安心・安全なサービスの提供に努めます。

○地域との共生

地域における福祉システムの構築に主体的に関わり、関係諸機関との連携・協働により、地域の福祉課題に取り組みます。

○人材育成、適切な人事・労務管理の実践

経営の持続と発展を図るため人材の育成に努め、職員の自己実現に寄与するとともに、適切な人事・労務管理を実践します。

○財務基盤の安定化と公共的・公益的取組みの推進

安定的な財務基盤の確立のもと、地域の福祉ニーズに即応した先駆性、開拓性のある社会貢献を推進します。

3 職員の行動規範

- その行動は、お客様の喜びと満足につながっていますか。
- その行動は、お客様の立場に立ったものですか。
- その行動は、お客様の希望に沿ったものですか。
- その行動は、お客様の自立支援につながるものですか。
- その行動は、あなたの自己実現につながるものですか。

4 法人の概要

(1) 法人概要

法人名	社会福祉法人十日町福祉会
代表者氏名	理事長 村山 薫
主たる事務所の所在地	新潟県十日町市水口沢99番地
認可年月日・番号	平成20年7月1日・法人番号 6110005010696
設立登記年月日	平成20年10月1日
役員数	理事8名、監事3名、評議員9名

(2) 事業の一覧

① 特別養護老人ホーム三好園 介護老人福祉施設 短期入所生活介護事業(介護予防含む) 身体障害者短期入所生活介護事業 通所介護事業・通所介護相当サービス 認知症対応型通所介護事業(介護予防含む) 地域包括支援センター	② 特別養護老人ホームあかね園 介護老人福祉施設 地域密着型介護老人福祉施設 短期入所生活介護事業(介護予防含む) 身体障害者短期入所生活介護事業 通所介護事業・通所介護相当サービス 居宅介護支援事業	③ ケアセンター三好園しんぞ 介護老人福祉施設 短期入所生活介護事業(介護予防含む) 通所介護事業・通所介護相当サービス 日常生活支援総合事業通所型サービスA 訪問看護事業(介護予防含む) 居宅介護支援事業 地域包括支援センター
④ 複合型介護施設三好園四ツ宮 地域密着型介護老人福祉施設 小規模多機能型居宅介護事業(介護予防含む)	⑤ 複合型介護施設よしだ 地域密着型介護老人福祉施設 短期入所生活介護事業(介護予防含む) 認知症対応型共同生活介護事業(介護予防含む) 通所介護事業・通所介護相当サービス	⑥ ケアハウスみよし台 ケアハウス
⑦ ヘルパーステーション十日町 訪問介護事業・訪問介護相当サービス 居宅介護・重度訪問介護事業	⑧ ケアホームうえの 小規模多機能型居宅介護事業(介護予防含む) 認知症対応型共同生活介護事業(介護予防含む)	⑨ 障害者支援施設なかまの家 施設入所支援(短期入所事業) 生活介護事業 日中一時支援事業 共同生活援助事業(短期入所事業)
⑩ 障害福祉サービス事業所なごみの家 生活介護事業 就労継続支援B型事業 放課後等デイサービス事業 日中一時支援事業	⑪ 障害福祉サービス事業所アトナなごみ 就労移行支援事業 就労継続支援B型事業 日中一時支援事業	⑫ 障害福祉サービス事業所アトナかわにし 就労継続支援A型事業 就労継続支援B型事業 日中一時支援事業
⑬ 障がい者地域生活支援センターあおぞら 相談支援事業(委託・特定・一般・障害児) 障害者就業・生活支援センター事業	⑭ 新座保育園 保育事業 未満児保育事業 一時預かり事業	⑮ 上野保育園 保育事業 未満児保育事業 一時預かり事業
		⑯ ケアホームげじょう 日常生活支援総合事業通所型サービスA 生活介護事業 就労継続支援B型事業 放課後等デイサービス事業 放課後児童健全育成事業(放課後児童クラブ) 子ども図書館

(3) 職員総数

638人(平成31年3月31日現在)

5 事業総括(重点目標への取り組み)

平成30年度は、経営・組織管理、事業管理、財務管理、人事・労務管理、施設整備・新規事業等への取り組みを重点目標に掲げました。

(1) 経営、組織管理

- ① 理事会において内定事業の議決や経営改善計画等の重要事項について慎重に審議し、事業運営が滞らないよう対応しました。
- ② 経営会議、本部会議、事業部会議を定期的に開催しました。「経営改善計画」を策定し、下半期より改善のための対策を実施しました。
- ③ 法人リスクの集積、分析を行い、その結果を踏まえて物損事故防止キャンペーン等の実施、各事業所への注意喚起も行いました。法人全体の事故件数は昨年より17%程減少し204件でしたが、服薬に係る事故等の介護事故の発生は多く、課題を残しました。

(2) 事業管理

- ① 報酬改定の対応を行いました但し事業収益追求の方策が不足しました。「経営改善計画」の策定、実施で収益の改善につながりました。
- ② マニュアルの更新、見直しは4回実施しました。標準予防策等を見直しました。
- ③ 法人全体の研修は計画に基づいて実施しました。「個人研修計画表」の作成により各研修への参加率が向上しました。
- ④ 民間ノウハウを活用した「虐待防止研修」は仕事の振り返りから虐待防止の理解を深め、高齢者施設の「リーダー研修」は職員指導等を学びました。1年を通して研修コンサルティングを受け、次年度は「総合人材確保計画」に基づき人事育成研修に取り組みます。
- ⑤ 障害事業、保育事業は利用者台帳や記録に関するシステムのデモンストレーションを行い、次年度に向けて導入準備を行いました。
- ⑥ 三好園しんごでタブレット使用による記録業務の簡素化に向けた試行を行いました。また、おむつ適正化AIの活用は施行、11月からは「眠りスキャン」の利用を開始しました。特養の事業所へ天井つり上げ式リフトや機械浴槽を整備しました。

(3) 財務管理

- ① 月次試算表の分析と対応の協議がうまくかみ合わないことがありました。事業別の対策は行いましたが不十分であり「経営改善計画」を策定しました。経営分析会議は定例で行い、理事、監事と法人財務状況の情報共有を図りました。
- ② 会計監査人から、会計に関するプロセスについて各事業所が監査を受けました。
- ③ 事業収益が思うように確保できず予定の積立はできませんでした。資金運用は次年度の課題となりました。

(4) 人事・労務管理

- ① 「総合人材確保計画」を策定し、計画的に人材育成と人材確保に向けて始動しました。県内の大学、専門学校、管内の高等学校も訪問しました。しかし、新規卒業生の内定者は4名に留まっています。
- ③ 未来の担い手育成の取り組みとして高校生向けサマーワークキャンプで、高校生2名を受け入れました。妻有地域包括ケア研究会主催の多職種協働セミナーでは学生6名を迎えました。介護や医学、歯学、看護学、建築学を学ぶ学生が参加しました。
- ④ ベトナム国の事情により、技能実習生は来日できなくなりました。在留資格「介護」で入国したベトナム人4名は山口県の日本語学校を卒業後、平成31年4月に介護福祉士養成校に入学予定となりました。
- ⑤ トータル人事制度の検証において、処遇改善加算を活用し業運営上重要な資格及び夜勤者の確保を目的に資格手当、夜勤手当の充実を行いました。また、看護師確保を目的に、市町村が実施する就業支度金支給支援事業を活用し、新採用の看護師へ適用を行いました。「総合人材確保計画」の策定と共に法人の人材育成方針を固めました。
- ⑥ 労務管理の徹底においては各事業所で危険箇所等の点検を定期的に行っています。労働災害は5件でした。本部会議で時間外労働が多い職員の把握を行い、事業所管理者と共に個別指導にあたりました。また、業務改善に向け介護機器の活用を図りました。9月中旬にストレスチェックを実施し、その結果に基づき産業医との面談機会を下半期に設定しました。1名が受診しました。職員の心の相談体制は上越カウンセリングルームと契約を継続し、職員への周知も継続して行いました。7月に1名の利用がありました。健康診断等は日程を決め行いました。9月にメンタルヘルス研修会を開催しました。

(5) 施設整備・新規事業等

- ① 平成30年4月に「ケアホームげじょう」を開設しました。「ケアホームげじょう」の第二期工事である地域密着型施設等の整備計画は、人材確保の困難性や地域ニーズの変化を検証することを目的に今年度の具体的な計画づくりは保留としました。
- ③ 障害者支援施設なかまの家並びに特別養護老人ホーム三好園の老朽化に伴い、改修計画を含め今後の在り方を検討するために、なかまの家の在り方検討会は7回開催し、「地域生活支援施設」の方向で案がまとまり始めています。三好園在り方検討会は4回開催し、建物の現状を把握し課題をまとめ、委員の共通認識を図りました。いずれの検討会も次年度以降継続協議します。
- ④ 障害者グループホームの一部老朽化に伴う対策で中古物件を2棟見学しました。しかし、物件状況から活用するまでには至りませんでした。グループホームひまわりは老朽化が著しく利用者の生活の質を維持することが困難となり3月31日に廃止しました。
- ⑤ 上野保育園併設の「川西子育て支援センターえくぼ」を十日町市より委託を受けて、4月より経営移管を図り1年間順調に運営することができました。上野保育園との連携も図ることができました。
- ⑥ ケアホームげじょうにて「下条小学校放課後児童クラブ」を十日町市より委託を受けて、4月より経営移管を図り1年間順調に運営することができました。ケアホームげじょうでの共生型サービスの取り組みで障害児や高齢者との交流が図られています。
- ⑦ 「ケアホームげじょう」において、生活困窮者自立支援事業の一環としての就労訓練事業は、関係機関と連絡をとり事業実施を周知しましたが、事業の利用を希望する利用者がいませんでした。次年度も引き続き対応を行っていきます。

〇 地域貢献

- (1) 介護職員初任者研修を5月19日から9月27日の間で実施しました。7名が終了しました。
- (2) 喀痰吸引等研修は29名の応募がありました。基本研修(講義)、演習を全員が終了し、実地研修を開始しています。
- (3) 三好園しんごで施設を活用して「こども食堂」を実施しました。8月から12月まで月1回5回実施し、合計で193人の参加がありました。
- (4) 認知症カフェとして東包括支援センター、北包括支援センター、三好園四ツ宮が主体となり「オレンジカフェ」を開催し、合計で43人の参加がありました。

〇 主要事項

- (1) 理事会を9回、評議員会を3回開催し、各種議案が審議・議決されました。
- (2) 法人監事から、法人における平成29年度、平成30年度上半期の業務執行状況、財産の状況及び財務の状況の監査を実施しました。